

株主通信

2025年3月期 **中間期**

2024年4月1日から2024年9月30日まで

FELIZ 115

挑
戦

Z - FLAG



第一工業製薬株式会社

証券コード: 4461



研究開発の確度とスピードの向上を図り、「こたえる、化学。」を実践してまいります。

研究開発型企业として研究開発の確度とスピードの向上を図るとともに、新本社を起点に社内外のネットワークを積極的に構築し、今後の成長に不可欠な基盤整備に取り組んでまいります。

代表取締役社長 **山路直貴**

てまいります。また、ライフサイエンス事業については黒字化に目途をつけるべく取り組んでまいります。

研究開発の確度とスピードの向上に向けた取り組み

現在、開発している製品のお客さまの使用条件や評価方法に基づき当社内で評価が行えるよう、評価機器の追加導入を検討しています。自社で評価を行うことで、市場やお客さまニーズに応える研究開発の確度とスピードの向上を実現するとともに、クレームに対するスピーディな原因追究と問題解決、さらには提案力の強化にもつながります。

また、お客さまからの情報も重要です。研究所をお客さまとの接点として積極的に活用することはもちろん、空いているスペースにお客さまとの打合せ後に懇親が図れるラウンジを設けることも考えています。お客さまとの交流を通じて、本音や情報などを共有し、より良い関係性を築

くことで、スピードの向上を図りたいと考えています。

加えて、当社は本部制の組織を敷いておりますが、研究開発の確度を上げ、スピードを向上するには、各部門の緊密な連携によるセグメント管理が不可欠です。本部間のコミュニケーションの活性化を図るための横断機能の強化にも努め、新規研究テーマの開拓や既存技術を横展開できる市場の探索を強化してまいります。

企業風土改革への取り組み

当社は、さまざまな企業風土改革に取り組み始めています。新本社には社外の方々と交流を図ることができる場を設けており、新本社を起点に人や技術の交流を通じて、新たな価値やイノベーションの創出を目指しています。一例として、9月にはパートナー契約を締結したMIG株式会社と認知症の予防を目指す脳健康VR測定セミナー*を行いました。当社では、引き続き新本社での脳健康VR測定サービスを提供していきます。

また、このスペースでは社員が仕事をしたり会議をしたりすることもできますので、社外の方だけでなく、社員も

懇親の場として利用し、交流を深めてもらいたいと思っています。こういった活動を通じ、社内外のネットワークを太くし、新たな技術や領域に積極的にチャレンジできる企業風土の醸成につなげていきたいと考えています。

株主の皆さまへ

当社は、2024年4月に創業115周年を迎えました。さらに、その節目の年の8月1日に京都の玄関口に位置する京都駅前に新本社を開所することができました。これもひとえに株主の皆さまをはじめ、関係各位のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

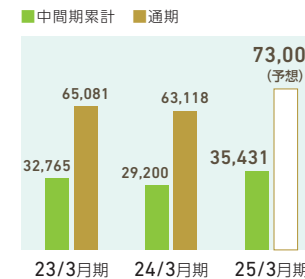
今後の成長に不可欠な基盤整備を着実に進め、各部門の連携強化により「こたえる、化学。」を実践し、持続的な成長を目指してまいります。

当社の原点である「研究努力」に立ち返って研究開発力の強化を図るとともに、今後の成長に不可欠な基盤づくりを着実に進めます。

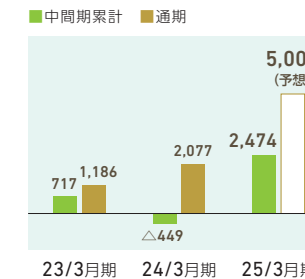
株主の皆さまには、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

*脳健康VR測定に関するリリースはこちらをご参照ください。 https://www.dks-web.co.jp/updata/n_pdf/2024091201.pdf

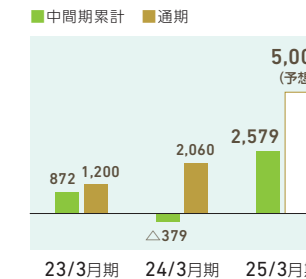
売上高 (百万円)



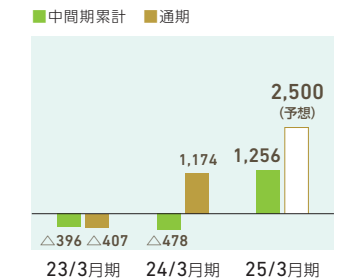
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



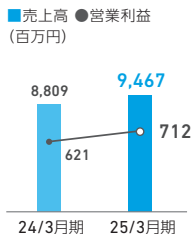
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益 (百万円)



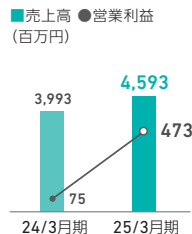
事業セグメントの概況(中間期累計)



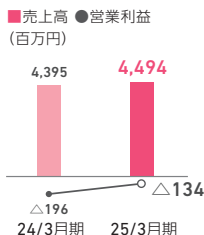
国内では、IT・電子用途、機械・金属用途、塗料・色材用途は堅調に推移し、石鹼・洗剤用途は大幅に伸長しました。海外では、ゴム・プラスチック用途、塗料・色材用途は低調に推移しました。



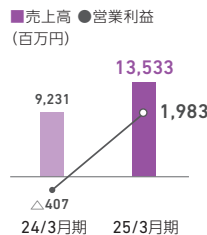
国内では、ビニル系高分子材料はゴム・プラスチック用途が堅調に推移し、セルロース系高分子材料はエネルギー・環境用途が堅調に推移しました。ショ糖脂肪酸エステルは食品用途が堅調に推移しました。海外では、ショ糖脂肪酸エステルは香粧品用途が堅調に推移し、食品用途は大幅に伸長しました。



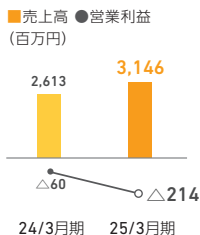
公共工事に関連する土木用薬剤は大きく落ち込みましたが、フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油は堅調に推移しました。機能性ウレタンはIT・電子用途が大幅に伸長しました。



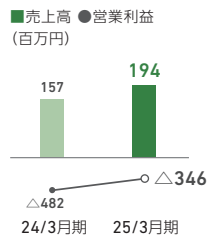
難燃剤はゴム・プラスチック用途が国内では低調に推移し、海外では大幅に伸長しました。水系ウレタンは国内では繊維用途が大幅に伸長しました。光硬化樹脂材料は国内外でIT・電子用途が大幅に伸長しました。



ディスプレイ用途のイオン液体は堅調に推移し、太陽電池用途の導電性ペーストは大幅に伸長しました。

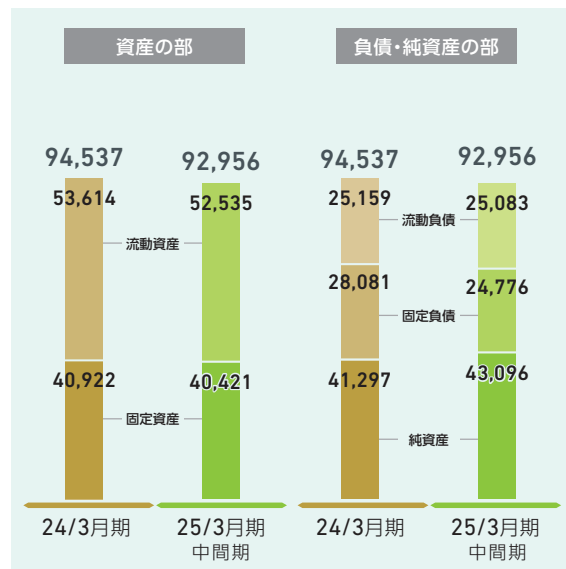


医薬品添加物や天然素材からの抽出物の濃縮化、粉末化による健康食品等の受託事業は堅調に推移しました。

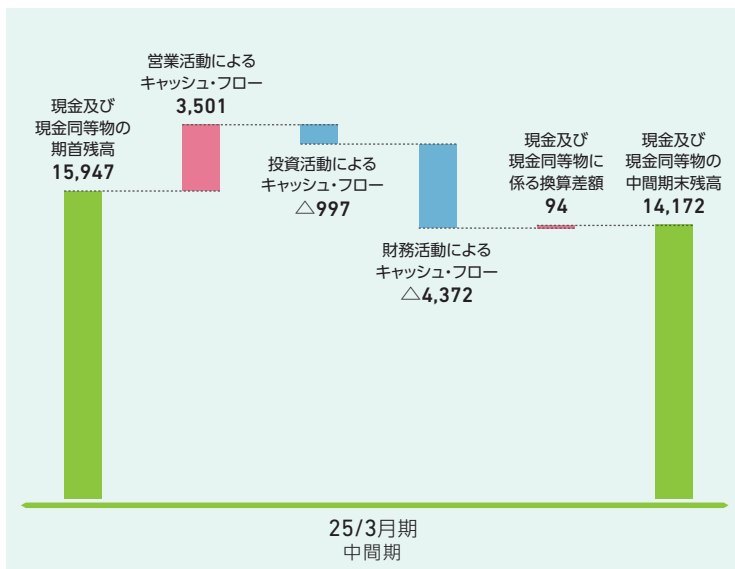


連結財務情報

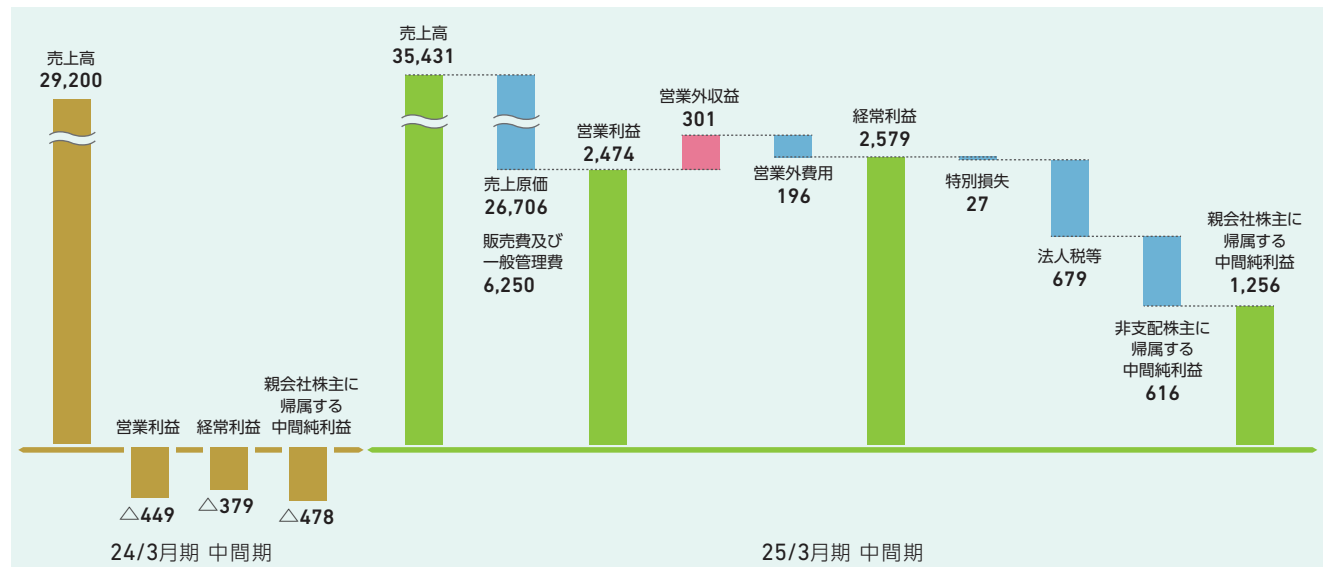
連結貸借対照表 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



人的資本経営の取り組み

当社では人事制度および評価制度再構築の一環として、前期から新たな表彰制度を導入し、2024年6月に新制度に基づく業績表彰式を開催しました。

受賞者だけでなく非受賞者も巻き込むことで、モチベーションの相互創発を図り、継続して成果の創出を促す仕組みです。今後はこれらの取り組みをさらに改善し、浸透させていきます。全社員が相互に称賛し合い、ともに受賞を目指す良好なサイクルを形成し、組織風土変革にもつなげてまいります。



健康経営®への取り組み

「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

従業員の健康を維持・増進することで会社の生産性向上を、ひいては企業価値の向上を目指します。この取り組みは、担当役員の出席する会議体において結果の報告とそれに基づき策定された計画の承認を得ています。



5年連続選定

当社は健康経営に優れた企業として経済産業省と東京証券取引所が共同で取り組む「健康経営銘柄」に5年連続選定されました。



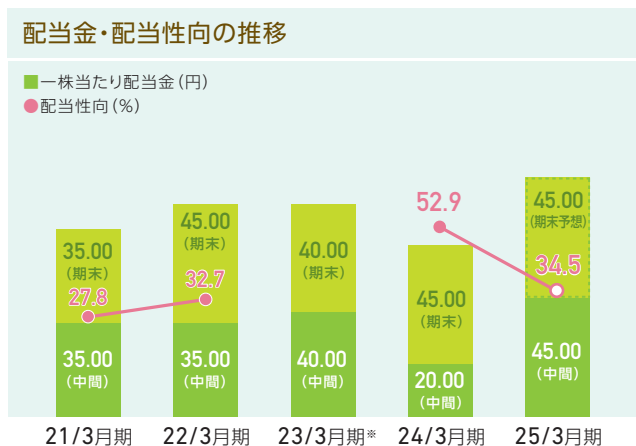
7年連続最高ランク取得

当社は日本政策投資銀行の「DBJ健康経営(ヘルスマネジメント)格付」において7年連続「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」と評価されました。

会社概要・株式の状況 (2024年9月30日現在)

会社概要	
社名	第一工業製薬株式会社
創業	明治42年4月
設立	大正7年8月
資本金	88億9,520万円
従業員数	598名(連結1,141名)

取締役、監査役			
役職	氏名	役職	氏名
代表取締役 会長	坂本 隆司	代表取締役 社長	山路 直貴
取締役	清水 伸二	取締役(社外取締役)	奥山 喜久夫
取締役(社外取締役)	橋本 克己	取締役(社外取締役)	中野 秀代
常勤監査役	大西 英明	常勤監査役	古澤 佳幸
監査役(社外監査役)	高橋 利忠	監査役(社外監査役)	宮永 雅好



※親会社株主に帰属する当期純損失を計上したため、配当性向は記載していません。

事業所		
●本店	●東京本社	●四日市工場 千歳地区
●本社	●名古屋支店	●四日市工場 霞地区
●研究所	●九州支店	●大瀧工場
		●滋賀工場

株主分布状況		
	株式数比率	株主数比率
金融機関	42.13%	0.48%
個人・その他	24.49%	94.87%
外国法人等	12.57%	2.04%
その他法人	6.16%	1.84%
自己名義株式	10.37%	0.02%
金融商品取引業者	4.28%	0.75%

大株主一覧		
株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,298	13.56
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	711	7.43
第一生命保険株式会社	613	6.41
株式会社みずほ銀行	427	4.46
株式会社京都銀行	417	4.35
DKS取引先持株会	395	4.13
朝日生命保険相互会社	339	3.54
第一工業製薬従業員持株会	313	3.28
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	179	1.88
野村證券株式会社自己振替口	160	1.68

(注) 1.当社は自己株式を1,108,487株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2.持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

駅前至近の利便性を活かし、ステークホルダーの皆さまとの交流を強化しました。最新の設備と快適なオフィス環境で、働きやすさと機能性を最大化しています。

フリースペースのショールームではお客さまと役員および従業員が交流し、製品紹介や打合せ、懇親会など多目的に活用しています。従業員専用フロアには緑を取り入れたリフレッシュスペースがあり、社員同士のコミュニケーションが促進されています。モチベーションとパフォーマンスを向上させ、企業全体の成長を後押しします。



新本社外観



懇親会開場としてショールームを活用



植物を囲む席は大人気

株主メモ

創業年月	明治42年4月(1909年4月)
事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
配当	期末配当金受領株主確定日 3月31日 中間配当金受領株主確定日 9月30日
単元株式数	100株
発行済株式総数	10,684,321株(2024年9月30日現在)
お取扱窓口	証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主さまの各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。 証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別

お問合せ先

口座の場合)、みずほ信託銀行(株)にてお取次いたします。

〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行(株) 証券代行部
ホームページ <https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html>

フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

未払配当金のお支払

上記みずほ信託銀行(株)までお問合わせください。

上場取引所

東京証券取引所 プライム市場(証券コード4461)

第一工業製薬株式会社

〒601-8002 京都市南区東九条上殿田町48番地2
TEL 075-276-3030 FAX 075-276-3031
<https://www.dks-web.co.jp>

DKSレポート
(統合報告書)
はこちらから

